

## 協働のまちづくり協議会（第6回）会議録

《日 時》 令和元年10月20日（日）9時15分～16時30分  
《場 所》 女性センターゆうまつど4階ホール  
《出席者》 犬塚 裕雅 会長、杉浦 利彦 副会長、小川 早苗 委員、  
牧野 昌子 委員、秋山 和敏 委員、佐藤 秀樹 委員、門 良英 委員  
《傍聴者》 3名

### 1 開会

### 2 協働のまちづくり協議会委員紹介

### 3 協働のまちづくり協議会 会長挨拶

### 4 議 題

#### (1)令和2年度実施分協働事業・市民活動助成事業プレゼンテーション

各団体及び担当課が、パワーポイント等により、5分間のプレゼンテーション及び7分間の質疑応答を行なった。以下、各事業の質疑応答の内容。

#### 【協働事業】

##### ① 事業名：災害時要配慮者支援事業

団体名：小金原地区会（小金原連合町会）防災部

担当課：危機管理課

委 員 広域防災というのは、台風などの災害も含めた対応なのでしょうか。

また、事業はどの段階でスタートするのでしょうか。動くかどうか中途半端な時に誰が声掛けをするのでしょうか。

また、今回の台風では通信障害が発生しましたが、連絡の方法の対策は練っているのでしょうか。

団 体 これまで、発災後の対応を考えてきましたが、千葉県も台風が直撃するようになってきました。今後の課題として、地震に限らず、台風も災害として考えないといけないと思っています。また、台風は予測できるので、事前の対応策として、地区会がどう動くかはこれから詰めていく必要があります。

また、声掛けというのは、タイムラインを作って、幹部が集まり声掛けをする必要があります。

そして通信障害についてですが、栗ヶ沢中学校地域防災委員会の呼びかけにより、地区会で、各町会に無線機を持ち始めています。台風の時に実際に使ってみまし

たが、これについても、幹部が集まった時に、無線機はどここの町会に何台あるとか、充電はどうするかなど、今後詰めていくことが課題だと思っています。

委員 マニュアルの作成が今回の事業の大きなところだと思いますが、作った後の活用方法はどのようにお考えですか。

担当課 今は小金原で地域版として取りまとめているのですが、最終的にはこの要配慮者支援マニュアルを市内全域に普及していきたいと思っています。市内の特別養護老人ホームや地域包括支援センターと連携して、小金原でこういうマニュアルを作っているということを周知していき、完成したら改めて伝えていきます。市内全体の防災体制の強化につなげたいと思っています。

委員 予算に、グッズ150円を800個とありますが、どのようなものでしょうか。

団体 これまでは、1年目は、防災意識を高める意味で簡易トイレを配りました。2年目は子どもや乳幼児をスポットに当てていたので、災害時用の笛を配りました。次年度は、品物はまだ決めていませんが、啓発活動のグッズとして適当なものを見つけないかと思っています。

委員 要配慮者の対象は様々だと思います。専門家、支援者の視点は、マニュアルにどう反映されるのでしょうか。

担当課 実際の災害時の支援の際には、要配慮者の容体を見極める必要があります。そういったところは、医療・福祉の専門職の方に聞かないとわからないので、要配慮者のトリアージなど、会議で議論してマニュアルに落とし込んでいきます。円滑な支援の方法をマニュアルに盛り込んでいく予定です。

#### 【市民活動助成事業（スタート助成）】

① 事業名：子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業

団体名：なないろのもり

委員 体験会は屋内だけのようですが、今後、屋外で農地の野菜の収穫など、そういったこともやってみてはどうでしょうか。

団体 現在のメンバーの数では安全性の確保の観点から屋内に限定されてしまっています。実際に農家さんからお声掛けいただいているので、今後やっていきたいと思っています。夏休みにゲームばかりやっている子が多いので、何か楽しいことができたらいいなと考えています。

委員 クリスマスイベントの協賛金というのは、どのような方がくれるのでしょうか。依頼するのですか。

また、22名の中学生ボランティアというのは、どういった方で依頼するのでしょうか。

団体 協賛金は、地域の商店の方々に依頼します。その他に、イベントでブースを出店する方から、協賛金として出展料をいただいています。

中学生ボランティアについては、まつど市民活動サポートセンター主催のレッツ体験で中高生ボランティアの募集をした結果、今年中学生 22 名の参加がありました。

委員 夏祭りは参加費を取っていますが、クリスマスイベントは無料でできているのでしょうか。

団体 入場は無料で誰でも参加できるようにとやっていますが、運営スタッフはほぼボランティアで、何とかやっているという状態です。

委員 参加者が増えてきて登録制にするとのことですが、参加のハードルを上げることになるのではないのでしょうか。一般に開くよりも登録制にするというのは、どういったお考えがあるのでしょうか。

団体 どんな子でも参加できるようにというのは根底にあります。ただ、応募が殺到したことで、本当に必要な子に場所を提供できていないのが残念だという思いがあります。登録制にすることで、密なコミュニケーションやサポートができるのではないかと考えました。基本的にはどんな子にも参加してもらいたいというスタンスでいきたいですが、実際には毎回の周知が大変なので、運営側のためにも登録制は設けたいと思っています。

会長 現在の会員数での運営には限界が来ているのではないのでしょうか。次年度仲間を増やす目論見はありますか。

また、収入を事業収入で賄っているようですが、事業収入は変動するので、少し不安定さを感じます。目論見通り事業収入が得られなかった場合のことをどう考えていますか。

団体 メンバーを確保するのが難しいというのが現状です。手伝ってくれる方は集まるのですが、メインになって私たちと一緒に動こうという方を見つけるのが難しいです。

収入に関しては、こんなにいろんな人に必要とされているということが想定以上の反響だったので、できるところまで継続してやっていきたいと思っています。

## 2 事業名：働くおとなのホッとできる居場所づくり事業

団体名：まちなす・L a b o

委員 最近コミュニティナースという考え方が広がっているので期待したいです。8月から活動を始めてみて、どんな相談があったのか、どんな方が来たのか教えてください。

団体 まだ高齢者の方が2名来ただけです。その方々は、障害のあるお子さんをお持ちの方でした。月に1、2回の開催で、周知もまだ少ないので、これからは周知もしっかりやらないといけないと思っています。

委員 時間帯を移行した理由は何でしょうか。また、イベントの内容を教えてください。

団体 働く方は日中に参加することが難しいので、夕方から夜8時時くらいがベストではないかと考えてこの時間にしました。

また、イベントは、セルフケアをテーマにやっていくつもりです。大人は自分の健康の大切さをわかってはいますが、行動に移せない方が多いです。そういう方々が参加したいと思うようなイベントを行いたいと思います。一番の目標は、こういう活動をやっているということを知ってもらうことです。まずはコミュニティを作ってから、健康へのアプローチをしたいと思っています。リラックスするために香りを使ったり、体操をしたりということを考えています。

委員 出張型保健室の場所はこれから探すとのことですが、具体的に今考えている場所があれば教えてください。ドアがないオープンなスペースになっているとか何か工夫があればいいなと思います。

団体 足を運びやすいという点で、駅から徒歩10分以内がいいと思っています。また、公民館とか会議室のような堅苦しい場所ではなく、カフェなどのリラックスできる場所をと考えています。伊勢丹の横にあるビルで、スタートアップスペースを借りられる場所があり、立地も良く、高台にあってイメージもいいところだったので、そこに打診してみようと思っています。あとはカフェを開拓していきたいです。町とのつながり、地域の方の参加という意味で、カフェへのアプローチはしていくしかないと思っています。さらに、財政的に可能ならば、キッチンカーを借りて公園でやったりとかもいいなと思っていますが、まずは存在を知っていただくことが第一優先です。入りやすい工夫というのはまだ考えていませんでしたが、チラシの作り方や会場の立地を検討していきたいです。

会長 構成員である5人の方々は看護師さんですか。

団体 3人は看護師で2人支援員として事務を手伝ってもらったりしています。

会長 目標としてはもう3人増やしたいとのことですが、関心のある看護師さんはどのくらいいるものなのでしょうか。

団体 看護師の知り合いに話を聞いていますが、しばらく看護師の職から離れていると、働きにくいとのことで、自分のできることがあるならやってみたいという話を聞いています。

### 3 事業名：プレママ教室事業

団体名：ぶぶぶママ大学

委員 いろんな教室を開かれるようですが、相談会の方が有効なのではないでしょうか。相談会のあり方を教えてください。

団体 なかなか相談会までには至っていないです。講座を行う際、いらっしゃる妊婦さんたちが初産でイメージがわからないみたいで、講座を聞いてお腹一杯になって帰るといった感じで、具体的な相談にまで至っていません。こういう悩みが出た

らここに相談を、という様なサポートを来期はやっていきたいです。

- 委員 あまり人が集まらないとのことですが、時間、曜日の問題は考えていますか。
- 団体 最近共働き夫婦が多いので、活動は日曜日になっています。アンケートにも、日曜日の開催でありがたいという声もありました。逆に日曜日くらい休みたいという方もいるのかもしれませんが、今後も活動は日曜日を考えています。
- 委員 市の方でも母親、父親学級を開催していると思いますが、共通するところ、独自のところ、それぞれあると思います。母子手帳といっしょにご案内を出してもらおうとか、何か周知をしてもらう工夫をしたらどうでしょうか。
- 団体 母子手帳といっしょに周知をして欲しいというのを、担当課に相談しましたが、無料のイベントだったらよかったですのですが、このイベントは有料なので難しいという話でした。産院にも電話して、4つの産院にチラシを置かせてもらっています。こういった努力も続けていきたいです。
- 委員 予算が今年度実施分の予算よりも減っていますが大丈夫でしょうか。現在は新松戸市民センターで活動されていますが、次年度は地域を変えるということは考えていませんか。
- 団体 次年度も新松戸で行おうと考えています。というのも、新松戸市民センターは、駅から徒歩12分程で、道が平坦で妊婦さんが歩きやすいです。駐車場も広く、車で来る方も参加しやすいです。また、妊婦さんはデリケートなので、会場は和室がいいのですが、新松戸市民センターの和室は他の市民センターの和室より広いので、この場所で行いたいと思っています。
- 予算は、今年度事業を行ってみて、想定していた集客が見込めず収入が少なくなりそうなので、講師謝礼を下げる交渉をするなど、支出で削れるところは削っています。

#### 4 事業名：シニア後期・シルバー世代と愛護動物のサポート事業

##### 団体名：宿りのまち

- 委員 近未来不安解消計画作成サポートは、随時実施するようですが、相談したい方がどこかに電話を入れるなどするのでしょうか。また、対応の体制としては毎日何時から何時まで受け付ける等時間の制約があるのでしょうか。
- 団体 私（団体理事代表）が受付窓口になる予定です。随時行おうというのは、勉強会でつながった方との悩み相談とかを随時受けるつもりでいます。
- 会長 予防的な取り組みはわかりますが、目の前に差し迫った問題はどうか対処するのでしょうか。自分たちで解決するのか、どこかにつなぐのか。飼い主が急に入院してしまったりした場合、どのような対応をするのでしょうか。
- 団体 来年の活動としては周知を行っていく予定ですが、後々はペットホテルも兼ねた小さなシェルターをつくることも考えています。

- 会 長 次年度は緊急の対応策はないということでしょうか。
- 団 体 大きな愛護ボランティア団体とつながりがあるので、そういうところと相談して動く予定です。
- 会 長 予算にある、報償費の外部講師謝礼2名分というのは、どの場面で発生するものでしょうか。
- 団 体 勉強会で使う予定です。
- 委 員 かなり少人数で活動されているようですが、実際に運営していくには協力が必要だと思いますが、そういった可能性はありますか。
- 団 体 大きな愛護団体も知り合いですし、活動で出会った方々も巻き込んでいきたいと思っています。シニア後期の方でも現役の方も多いので、賛同いただける方を募る予定です。活動を大きくしていきたいと思っています。
- 委 員 地域包括支援センターとのつながりはあるのでしょうか。
- 団 体 地域包括支援センターに知り合いがいて、相談に乗ってもらったりしています。そこから少しずつつながっていく予定です。
- 委 員 地域包括支援センターの会場を借りるということですか。
- 団 体 いいえ。会場は市民会館などを考えています。

**5** 事業名：[生きづらさ・ひきこもり]からだところに栄養をあたえる場づくり事業

団体名：生きづらわーほりプロジェクト

- 委 員 今日的な課題に取り組んでいるなと思いました。ひきこもりは不安が一番の壁となって外に出にくいのだと思いますが、そういった方に来てもらうために、広報はどのように行うのでしょうか。どのようにして当事者に届けるのでしょうか。
- 団 体 チラシやウェブサイト、SNSを活用しようと思っています。また、松戸市には「ひきこもり応援ネット」というネットワークができていますので、そういうところとも連携して周知していきたいと思っています。
- 事業の中で「ハート to ハートまつど懇談会」というのを実施する予定なので、そこでも周知していこうと思います。
- 委 員 ひきこもりの人を食べ物で癒すというやり方もあると思いますが、その後、社会で働きたいと考える人へのサポートをどう考えていますか。
- 団 体 地域社会や就労とかにつなげていけるような活動もしていきたいと思っています。地域のいろいろな団体と協力して、団体への橋渡しをするなどの仕組みを考えています。
- 委 員 今回の提案事業では、そこまでのつながりはないということですね。
- 団 体 今回は場づくりまでと考えています。
- 委 員 3年前に設立してから、これまでどういう方を講師に招いて、どんな話をして、どういう人とのつながりがあった、どういう改善があったというようなことを教

えてください。

- 団体 講師はひきこもりの経験者をお願いしていました。ハート to ハート懇談会に来た方がその後もつながったりして広がっています。今回の事業でも、ひきこもりの経験者に講師をお願いしようと思っています。
- 委員 今年の8月に3名の参加があったとのことですが、その時の様子や感想を教えてください。
- 団体 来ていただいた方は、私たちが茨城で活動していた時の仲間とか、ひきこもり歴1年～15年の方までいました。就職というところまでは遠いですが、少しずつやっていくしかないと思っています。
- 人と接する機会があると、可能性が広がり、いろいろな展開につながってくるだろうと思います。

〔6〕 事業名：地域の学び場創出「寺子屋こあら」事業

団体名：明地区こあら食堂の会

- 委員 勉強の面白さを伝えることが頭にあると思いますが、子供の要望としてはどのようなことがありますか。
- 団体 勉強につまずいてしまっているために、勉強が面白くない、学校に行くのが面白くないとなってしまっている子が多いです。1年生で学ぶ内容がわからないまま次の学年に進級してしまったりすると、ずっとわからないままなので、どこからわからないのか見つけてあげることが大切です。
- 委員 外国人の子供のこととありますが、今までに支援したことはあるのでしょうか。その際、どのような工夫をしているのでしょうか。
- 団体 現在も外国人のこどもが食堂に通っています。お母さんが外国の方ですので、学校で困っていることや、子どものことなど、何か困っていることはありますかと聞いたりします。ニーズの確認作業から取り組めたらと思っています。
- 委員 寺子屋と食堂が併設だと思えますが、スタッフは兼ねているのでしょうか。場合によっては寺子屋だけ来る子もいると思いますが、そういった場合でも無償で受け入れるのでしょうか。
- 団体 スタッフの中に塾講師もいるので、そういう者が寺子屋の対応をしています。寺子屋はもともとお金を取ろうとしているものではないので、寺子屋だけの参加であってもお金は取りません。
- 委員 いくらかでも参加費をいただければ、将来の自立した活動につながるのではないのでしょうか。
- 団体 現在、大人からは料金を徴収しています。それで何とか材料費を賄っているところですが、子供に関してはやはりお金を取る気はありません。
- 委員 学習支援は月に1回の開催ですが、日頃のサポートはどのような見通しでしょう

か。

- 団 体 まずここで種を育てて、子供たちが実際に来るのかどうか、そこから広げていけたらいいなと思っています。
- 委 員 お子さんに呼びかけるための周知の工夫などは何かあるのでしょうか。
- 団 体 食堂の周知をする際に寺子屋のことも併せて周知します。また、民生委員の方にも協力してもらおうと考えています。
- 委 員 来るお子さんは継続する可能性が高いのでしょうか。
- 団 体 食堂は継続する子もいたりしますが、寺子屋の方はわかりません。我々としては相乗効果を狙っています。定着してくれる方も増えるのではないかと思います。

**7** 事業名：坂川水系自然環境向上事業

団体名：坂川の花桃を愛する会

- 委 員 坂川は三面張りのコンクリートで作られているため、魚が住む環境としては良くないです。生息場所として、逃げ場がないので、稚魚なんかは流されてしまいます。餌場環境と逃げ場とあそび場があるとよいでしょう。江戸川河川事務所と話し合いの場を持てるのでしょうか。
- 団 体 コンクリートで固めた放水路になっているのですが、少しずつ土が堆積し始めていることも事実です。水草を増やせないかとも考えています。江戸川河川事務所、河川清流課、小金中学校の生物の先生や科学部とも協力して活動していこうと取り掛かり始めています。放流しただけではしょうがないので、定点観測もしようと思っています。松戸市の漁業組合とも協力してやろうと考えています。
- 委 員 生息場を作るとか、逃げ場所を作るといったことの相談はしているのでしょうか。
- 団 体 国土交通省の管理下であり、そこと話をしないと進まないのでは、話し合いの中に入ってもらって進めていくつもりです。文化講演会にも国土交通省の方に来ていただいて、その辺も含めた講演をしてもらおう予定です。
- 委 員 予算の中で、助成金ほぼ稚魚のお金に使われるようですが、今年度はどのように工面したのでしょうか。
- 団 体 今年度は寄付金を集めて実施しました。会員やイベントに集まる200名ほどの方々にお声掛けして寄付金を募りました。
- 委 員 放流した稚魚はどのくらいが定着しているのでしょうか。
- 団 体 1,000匹のうちどのくらい残ったかといったことは、正直わかりません。どうやって個数を確認するかというのは、これから専門家と確認してやっていきたいと思っています。
- 委 員 ナマズの試食会というのはここで育ったナマズを食べるのですか。
- 団 体 試食会は別で調達する予定です。
- 委 員 外来種の問題はないのでしょうか。人が沢山集まっているようですが、広報の工



夫はどのようにされているのでしょうか。

- 団 体 もともと魚があまり住んでいない川なので、外来種の問題はあまりありません。広報については、地域の皆さんに声掛けをしたり、子供会を通じて周知をするなどして広報しています。また月刊新松戸という地域の情報誌にイベントの情報を載せています。

**8** 事業名：相続・贈与に関する税務相談・遺言作成相談事業

団体名：特定非営利活動法人ライフ・サポート

- 委 員 予算として助成金が5,000円ほどですが、これは助成を受けるメリットがあるのでしょうか。助成を受ける中でいろいろな縛りが出ると思いますが、そのうえでもメリットがあるのでしょうか。

また、相談を受ける際に、相続に関しては弁護士も絡んでくると思いますが、専門家の中には弁護士も入っているのでしょうか。

- 団 体 助成金をもらうメリットですが、5,940円に対していろいろな縛りがあるとなると、不自由な点もあると思いますが、市と協働でやっていくと考える上では、きちんとした活動をするということで申請しました。弁護士が必要ではないかとのことですが、どこへ行って何を相談すればいいのかという入口の相談においては、弁護士はいらないと思いますので、グループの中に弁護士はいません。

- 委 員 5,940円というのは確かに少なく、役に立つのかなと思いました。予算としては会場費しか計上されていませんが、周知用のチラシの費用などは見積もらなくていいのでしょうか。

また、メンバーである10名の方々は、行政書士や司法書士が中心なのでしょうか。

- 団 体 メンバーには税理士、司法書士、行政書士がいますが、全員が有資格者というわけではありません。事業に賛同していただける方に入ってもらっています。

また、周知用のチラシは作っていません。皆さんどこへ相談に行けばいいのか不安に思っていますが、NPO自体がチラシを作ったところで、あまり集客できません。市の広報に載せてもらうなどして周知を図っています。ですので広告用の予算はとっていません。

- 委 員 委員の皆さんが気にしている5,940円のメリットとして、メンバーの皆さんは士業の方のようですが、皆さんの本業への誘導がメリットになるのかなというふうに見受けました。今まで市川市との協働事業を行っているようですが、相談会に来た方が有料の相談につながることもあるのでしょうか。

- 団 体 本業への誘導というのは特にありません。たまに、自分で相続税の計算をしたので検算してくださいとか、ここで書類の書き方教えてくださいといった相談に来る方がいますが、税理士法上、2か所事務所の禁止という決まりがありますので、

自分の事務所以外で仕事をしてはいけません。ですので、相談において仕事を受けることはありません。相談では、本当に入口のところを聞いて、どういうところに相談すればいいのかというアドバイスをしており、本業への誘導は行っていませんし、自分の事務所をPRしたりとかはしていません。

委員 1回に受ける相談の時間の制限はありますか。また継続して相談したい方はどうしていますか。

団体 1人20分としています。また継続しての相談は受けていません。相談ではどこに相談をすればいいのかというのをアドバイスするので、詳しい内容はそこで自分たちでちゃんと相談してくださいというふうにしています。

9 事業名：イベント型+交流型の居場所「悠々」の提供事業

団体名：NPO法人さわやか福祉の会・松戸くらしの助っ人

会長 イベント型の居場所を150回、交流型を120回とあり、ほぼ一年中毎日やっているようですが、これは負担になりませんか。

団体 部屋が空いてる時間を自由に使って欲しいということで回数を書いているのでこのような数になっています。

会長 実際に動いてる人は何人いるのでしょうか。

団体 事務所には日替わりで担当者が行っています。これまでの講師を招いて行うイベント型では、講師の趣味に合った人だけが参加するので、そうでないやり方の居場所をやりたいと考えています。

委員 構成員が165人と多いですが、同じような感じで皆さん動いているのでしょうか。

また交流型の居場所の会場はどこなのでしょう。

団体 居場所は、団体の借りている同じ場所ですとやります。

援助を利用する方、イベントの時だけ参加する方、いろいろといるので、声をかけて参加してもらったり、参加者からの口コミで参加してもらったり、会員だけでなく地域の方も参加してもらったりしています。

委員 イベント型では具体的にどういうことをやっていますか。

団体 イベント型は講師を招いてやりますが、アコーディオンを弾きながらの歌声ライブや、パソコン・スマホ教室、塗り絵など、7種類のことを講師を招いてやっています。交流型は、講師を招くのではなく、一緒に自分の好きな映画や音楽を持ち寄って楽しんだり、自分の好きなことをその場で共有するなどしています。

委員 イベントは申し込み制でしょうか。

団体 申込制ではなく自由参加です。

**10** 事業名：傾聴ボランティア養成事業

団体名：心のふれあい 傾聴ボランティア「かざぐるま」

委員 カウンセラーと傾聴の違いは何でしょうか。傾聴のやり方、傾聴でこういうふう  
に良くなってきたという実感などを教えてください。

団体 カウンセラーとは違いますので、専門の先生のようなことはできません。うつ病  
を患っている方、若くして病気になり精神的に不安定な方、認知症の方など、病  
名が付いているとカウンセリングの対象にはなるのですが、私たちは、相手の方  
と私たちの相性を見て、病名がついていないからという理由で門前払いをするよ  
うなことはありません。カウンセリングとは全く違って、とにかくお話を聞く  
ということをしします。

傾聴の形態は1対1が大原則です。まずは私たちが自己紹介をして、顔をうかが  
いながらお話を聞きます。相手がお話しをされない場合でも、あっちに行けと  
言われぬ限りは、ゆったりとそばにいるというふうにしています。

効果としては、一緒にいるだけでも顔つきや表情に豊かさが出てきます。帰り際  
に、また来てねと言ってくれたりして温かみを感じます。施設の方からも、傾聴  
を受けた方の表情が、以前よりも穏やかに明るくなった、夜眠れるようになった  
らしいという話を聞いたりもしました。

委員 傾聴をする側には男性もいますか。

団体 男性は1名しかいません。男性は仕事があったり、人と話をするということへの  
ハードルが高いと感じる方も多いようです。

委員 傾聴をする側の皆さんにもストレスがかかると思いますが、勉強会などはやって  
いるのでしょうか。

団体 私たちも大変な思いをすることもありますが。毎月定例会をやるのですが、そこで、  
こんなことがあった、あんなことがあった、こんな素敵なことがあったというこ  
との共有をすることで、モチベーションを高めています。

委員 傾聴をするうえで一番難しいことはなんですか。

団体 つい、私もこういうことがあって、などと自分の話をしてしまいそうになるので  
すが、自分の話はせずに、とにかく相手の話を聞くというのが最初は難しいです。

【市民活動助成事業(ステップアップ助成)】

**11** 事業名：地元発掘レシピに拠る食育キャラバン事業

団体名：数値調理会

委員 松戸市内に料理教室はどのくらいあるのでしょうか。

団体 13団体はありますが、この事業の対象となる、男の料理教室をやっているのは  
4団体ほどです。

- 委員 図書館にたむろしている男性に目をつけるというのは敬服しました。実際、人数的にどの程度の方が図書館にいらっしゃるかというのは把握をしているのか
- 団体 一時点を見れば5、6人はいます。午前、午後で10人くらいでしょうか。曜日によっては15人とかになることもあるかと思います。
- 会長 読み合わせ会は実食をする会なのでしょうか。
- 団体 1回目だけ実食をします。2回目からは実食なしです。読書会のかたちでつながっていけばいいなと思います。
- 会長 やらうとしていることは何となくわかるのですが、具体的なつかみができません。今狙おうとしている図書館の男性に声掛けをするときも、相手がピンとこないと気持ちが動かないと思います。このイベントに参加してどういう出口があるとか、広報の仕方も大事だと思います。広報に関するお考えはどういう構想をお持ちですか。
- 団体 お金の残せるレシピにしたいです。そこに共通の関心があるかと思っています。そこから後はまた考えたいと思います。
- 委員 健康食を普及するというのは、レシピだけで健康食の普及をするという事ですか。
- 団体 読書会を通じて参加者とのつながりを作っていく中で理解を深めていきたいと思っています。レシピは今でも女性の方々には継続して提供しています。健康食により医療費が下がり、廃棄食品が少なくなって、お金が残っていくことをやっていきたいです。
- 委員 実際に作る男性を増やすということではないのですか。
- 団体 それも含めてやっていきたいです。会員を増やしたいというのはどこの料理教室もあると思うので、そういった誘いはしてもいいかと思います。

**12** 事業名：よく生き、よく逝くための基礎知識普及事業

団体名：一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター千葉県支部

- 委員 支出に医師への報償費5万円とありますが、バランス的に報償費が大きく、他が少ないように感じますがいかがでしょうか。
- 団体 前回講演を依頼した医師は、60ページ分のレジュメを作成していただきました。レジュメ作成の時間や著作権も含めての金額です。  
他のところが安いのではないかというのは、印刷費が団体の努力でかなり圧縮されているためです。
- 委員 障害のある方が、自筆でエンディングノートをかけないという場合はどうするのでしょうか。
- 団体 運動機能に障害がある方は、家族や支援者と一緒に書いてもらうということもあります。法律でも、ある要件を満たせば代筆でもその方の意思とすることができ

るとされています。

委員 ワークショップの中で全てを書くというのは難しい人もいます。その後のフォローアップは何か考えていますか。

団体 実際に今年度常盤平でワークショップを行った際に、来てくれた方に、自分たちの地域でもこういうことをやって欲しいという声がありました。助成事業とは別事業でも、要望があれば自前の予算でフォローしていきたいと思っています。

会長 今想定されている場所はどこですか。

団体 今年度やったエリアは、新松戸、本庁、常盤平ですが、次年度は小金原、栄町、樋ノ口などを考えています。

委員 団体のメンバーは行政書士ですか。

団体 皆行政書士です。

#### 【市民活動助成事業(スタート助成)】

13 事業名：冒険山開放に伴う見守り事業

団体名：冒険山開放委員会

会長 遊具の所有権や管理責任はどこにあるのでしょうか。

団体 市にあります。

会長 小学校外の子供も使うために発足したということですね。校長先生の意向で方針が変わったりすることは無いですか。

団体 ポイントになるところですが、今の校長とはコミュニケーションがよく取れており、上手く進んでいます。流しそうめんをやった際にも、学校職員の方にもお手伝いいただいたりしました。

委員 最初に出た写真は昔の冒険山でしょうか。2.2mの滑り台は今はないのでしょうか。

団体 2.2m滑り台は今はありません。2段式の滑り台とターザンロープはあります。

委員 最終的には昔の冒険山の遊具を復活させるのでしょうか。

団体 教育委員会から、安全面の指摘があり、また資金面でも難しいです。遊具の復活は目的ではなく、竹馬などを使って、子供たちにさまざまな体験をさせることが狙いです。

委員 講師を呼ぶようですが、工作等を行う際に呼ぶのでしょうか。

団体 講師を招くのは、これからは始める事業を実行するための部分です。工作等はすでに行っていることで別になります。これから進展していくための事業が対象です。

委員 イベントも校庭の中でやるのでしょうか。

団体 焼き芋等もありますので、どこまで校庭でできるかわかりませんが、近くの畑をお借りして、焼き芋大会をやるという案もあります。

- 委員 焼き芋は地域住民の理解が必要ということでしょうか。
- 団体 そうです。
- 委員 小学校外の子どもを集めるのはどうやってやるのでしょうか。
- 団体 宣伝カーなどを考えています。

**14** 事業名：居場所提供と家出女性保護事業

団体名：NPO法人仮り暮らし

- 委員 活動の実績の中に、家を松戸市内に確保したとありますが、最大で何人まで泊まれるのでしょうか。
- 団体 2、3人です。
- 委員 運営は団体が行うのでしょうか。
- 団体 そうです。
- 委員 入居期間に決まりはありますか。
- 団体 期間をきめてしまうとプレッシャーになってしまうので決めていません。
- 委員 報告にある受け入れた方2名は、自分で出ていったのでしょうか。
- 団体 障害がある方でして、グループホームに行くということで納得して出て行かれました。
- 委員 団体構成員11名でやっていますが、社会福祉士やソーシャルワーカーの方はいらっしゃいますか。
- 団体 専門職の方はいませんが、病院や行政と連携していくつもりです。
- 委員 資格の取得支援とは具体的にどのようなことをお考えですか。
- 団体 たとえばパソコン系や、マイクロソフトやITパスポートなど、初心者でもとりやすい資格の取得支援です。
- 委員 取得の際の費用は誰が負担するのでしょうか。
- 団体 基本的には本人に負担してもらいます。しかし、あげる、貸す等も相談して決めていきます。
- 委員 収入の7万円はどういったものなのでしょうか。
- 団体 構成員11名から出ています。
- 委員 男性に対応する相談者、支援者はいますか。男性が泊まりたいといった場合はどうするのでしょうか。
- 団体 相談は受けますが、受け入れはしません。
- 会長 重い主題と考えますが、団体のリスク対応、利用される方のリスク対応はどのようになさっていますか。事件・事故等にはどのように対応していくのでしょうか。
- 団体 保護を受けた方が事故を起こす場合でしょうか。事故に巻き込まれる場合でしょうか。
- 会長 いろいろな事件・事故が考えられると思いますが、法的なリスクを含めた対応は

取っていますか。

団 体 GPSをオフにするとか、警察や弁護士と連携して対応します。

**15** 事業名：歴史ある団体や地域企業と協働による地域発展事業

団体名：北小金ドリームプロジェクト

委 員 今年度マップを作成したかと思いますが、この費用はどのように調達されたのでしょうか。

団 体 今年の1月にチームを作り、年会費を500円ずつ集めました。それでは足りなかったのですから1人1,000円ずつ徴収しました。

委 員 地元のお寺にちなんだ事業はありますか。

団 体 お寺にちなんだものはありませんが、北小金のネギやブルーベリーなどを使ってなにか新しいものがないか話し合っています。

委 員 高齢者が多い地域ですが、高齢者の巻き込み、イベントへの参加はどのようにお考えですか。クリスマスやハロウィンはどうなのでしょう。

団 体 クリスマスイベントは、前からやっている「黄金イルミネーション」の方から何かできないかということで声がかかって、付随するかたちで始まったものです。ハロウィンは小さい子がくることで三世代が参加する等、いろいろな方を巻き込んでいっていると感じています。

会 長 今回の提案はハロウィンとクリスマスイベントですか。

団 体 そうです。

会 長 イオンなどの協力を得て実施していこうということですね。地域の有力者ともつながっていく必要があると思いますが、関係性作りはどうですか。

団 体 団体の中で地域活動をしている者がいるので、根回しはしています。

会 長 反応はどうでしょうか。

団 体 期待されている面が大きいです。

会 長 地元商店等のスポンサーから資金面で協力してもらおうという考えはありませんか。

団 体 少し資金を出していただいている部分もあります。

委 員 クリスマスイベントは駅前だけですか。どのような地域エリアを考えていますか。

団 体 イルミネーションに付随したイベントを考えているので、場所は駅前を考えています。他の地域からも来やすいイベントとしても駅前がいいと思っています。近くの小中学校の協力もあるので、駅前ではありますが、地域の子供たちの参加もあります。

**16** 事業名：介護予防リーダーの育成と介護予防運動の普及事業

団体名：松戸リーダーズクラブ

委 員 介護予防リーダーを作っていくということですが、最終的には高齢者施設等に介

護予防対策として働きかけることは考えていますか。

- 団 体 それが一番と考えていますが、自治会から団地の方たちに教える、高齢者施設に教える、イベントのなかで教えるということを考えています。我々も仕事でいけないこともあるので、そのリーダーを地域の方からつくるのが重要だと思っています。
- 会 長 松戸プロジェクトとして、介護予防を市でやっていますが、みなさんのプロジェクトはこの取り組みを補完する関係なのでしょうか。市とは違う切り口なのでしょうか。
- 団 体 私は松戸プロジェクトに参加しました。最終的にはプロジェクトの中に入れられたらと考えていますが、我々は実践者なので、切り口は違いますが、草の根的な発想です。
- 委 員 地域住民のニーズにマッチしていない、という課題は具体的にどのようなことでしょうか。
- 団 体 通いの場を運営しているのですが、他の通いの場からも、体操をやってほしいという依頼があります。体操のニーズが大きいです。地域包括支援センターや通っている方、行政からも要望がありました。教えられる人間を育てる、というのは今の通いの場にはないことだと思います。
- 委 員 リーダーを育成した後、リーダーは教える立場にあると思いますが、交通費等の資金調達はどうされるのでしょうか。
- 団 体 補助金が出ればいいのですが、登録料500円、寄付金、利用する方からの2,000円等の収入からの充当を考えています。

**17** 事業名：野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート相談会事業

団体名：松戸地域猫スタートサポート

- 委 員 捕獲器が少ないとありますが、捕獲器は団体が持っているのでしょうか。それとも市が持っているのでしょうか。  
また、避妊手術の費用はどのように賄っているのでしょうか。
- 団 体 別団体（松戸地域猫サポート）が、捕獲器を2台持っています。一度に3匹以上の捕獲依頼があれば、保健所、環境保全課、動物愛護センター等から借りています。  
費用は、動物病院にご協力いただいて、15,000円～20,000円でやってもらっていますが、依頼者に負担してもらっています。
- 委 員 地域猫活動は松戸市内でもいくつか団体があります。助成事業申請団体の「宿りのまち」などもありますが、それらの団体との連携・協力はどのようになっているのでしょうか。
- 団 体 私は「宿りのまち」のメンバーでもあり、協力してやっていこう、というところ



です。

会 長 普及定着していくうえで、向き合っていかななくてはならない課題は何ですか。

団 体 難しいのは、猫を嫌いな方に理解してもらえるかどうかです。猫嫌いな方にも活動に参加してほしいですが、なかなか参加してくれません。広報まつど等で周知しています。猫嫌いな方をターゲットにしたいですが、猫好きな人から固めていて、説明をきちんとできるようにして、嫌いな人にもアプローチしていきたいと思っています。町会長からも依頼があるので、広がりが出てきている感じはあります。

委 員 実際に近所で地域猫活動をやろうとしたときに、二の足を踏むことがあると思いますが、ノウハウはあるのでしょうか。

団 体 相談会には、地域猫活動をやろうとしている方が来たりして、実際に活動されていることもあります。

**18** 事業名：ギャンブル依存症予防啓発事業

団体名：公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会

委 員 これまでの予算、決算の規模が2,000万円以上と額が大きいですが、内訳はどのようなになっていますか。

団 体 公益社団法人となっており、各種助成金、寄付金収入、文部科学省の委託等があります。

委 員 助成金制度がない自治体での活動費用はどのように賄っていますか。

団 体 そういった場合は、団体の持ち出しでやっているもので、行政に働きかけています。

委 員 セミナーに来られる方は、自分から参加されるのでしょうか。それとも家族が参加を促すのでしょうか。

また、全国的な展開はどのようにされているのでしょうか。

団 体 文部科学省からの委託事業では、全国3か所で教育機関の方に依存症予防事業を行いました。他には行政や援助職の方等も対象にしており、参加者は当事者と家族だけではありません。

会 長 ステップアップ事業として、どのあたりがステップアップとなるのでしょうか。

団 体 今回の売りとしては、依存症回復者に登壇していただくことで、当事者の参加を促すことです。

**19** 事業名：みんなで育て、みんなで食べる 浴道での食べられる景観づくり事業

団体名：EDIBLE WAY (エディブルウェイ) プロジェクトチーム

委 員 ハーブの他にどのようなものを植えているのでしょうか。

また、以前は研究費で活動されていたということでしたが、今後は具体的にどのような組織で活動されるのでしょうか。

- 団 体 一番多いのは野菜です。レタス、ラディッシュ、オクラ、ピーマンなどです。また、市の他にも、民間の財団等の助成金があります。プランターも企業からの提供があります。今後はイベント等で参加費等を徴収することも考えています。体制は、NPO法人の立ち上げも考えていますが、地域の方と適切なかたちを相談している状況です。
- 委 員 今までは無料で各家庭に配っていたので、研究室の持ち物として置かせてもらっているという認識ですか。また、何種類くらいの植物があるのでしょうか。
- 団 体 プランターの所有に関してはグレーでして、後で返してもらおうというのはありません。布製のものなので、耐久性はないため、おかしてもらったらそのままです。金銭面では、苗の販売と喫茶を融合した、苗カフェのようなものも考えています。活動自体はローコストで、別途資金調達を考えています。また、種取もやっけて、購入費は抑えています。
- 会 長 実績をもとにして再スタートという認識でよいですか。卒業される等のご事情があると思いますが、体制は大丈夫でしょうか。
- 団 体 学生のスタッフは数名います。代表の江口は、生涯の事業として考えています。研究室マターだったものを、協働のかたちとして、持続可能な体制を実現していく見込みです。

**20** 事業名：生活困窮者の支援事業

団体名：ワークライフサポート松戸

- 委 員 5人のメンバーはどのような方々でしょうか。相談会をどうやって当事者に届けるのでしょうか。
- 団 体 メンバーは、自分の友人かつ労働組合を作って一緒に活動してきたメンバーです。届け方は最大の問題になっていますが、ホームページを立ち上げたり、チラシを作って配布するということを考えています。将来的には社会福祉協議会と連携できればいいなと考えています。
- 委 員 チラシを作るのはわかりますが、それをどこに置いたら当事者に渡るかを、広報として作戦を練っていただきたいです。
- 委 員 予算概要で、収入に会員からの寄付金とありますが、会員5人で考えると、1人24,000円というのは少し多いのではないのでしょうか。また、社会福祉協議会との連携のあり方ですが、実際に社会福祉協議会から連絡をもらって、自分たちが動けるような体制になっているのでしょうか。
- 団 体 収入のところは、月1万円ずつ、1年間で12万円確保しようというところですが、また、社会福祉協議会との話し合いは特にしていません。対組織としての接触はありません。できるかどうかは正直わからないところです。
- 委 員 公的な支援事業に結びつけるというのが主な相談内容になると思いますが、予算

を見るとホームページの立ち上げなどに多くの経費を使うようです。相談事業そのものへの投資、事業計画はどのようなのでしょうか。

団 体 相談自体は自分たちでボランティアでやるものなのでお金はかかりません。広報、印刷物、会場費が支出の主なところと考えています。

会 長 ホームページの開設は、計画では2019年度の目標とありますが、スケジュール見ると2020年7月です。どちらが正しいのでしょうか。

団 体 開設は2020年7月が正しいです。

委 員 電話相談や、メール対応、ホームページの管理等、随時の受付体制はどうなっているのでしょうか。個人の事務室などがあって対応するのでしょうか。

団 体 専用の事務室というのは私の家ということになります。電話も専用の契約をして、基本的に私のところにかかってくるという体制で始める予定です

## 21 事業名：音楽活動による街の活性化事業

### 団体名：松戸音楽活動同好会

委 員 これだけの活動量を構成員8人でやっているということは、皆さんほぼこの活動に専念しているのでしょうか。

団 体 週3回活動しています。

委 員 年代はどのくらいの方々なのでしょうか。

団 体 60代から70代がメインです。練習を含めるとほぼ毎日活動しています。

会 長 訪問先として新しい施設の開拓できる見込みはありますか。市内に該当する施設はどのくらいあって、現在何割程度制覇しているのでしょうか。

団 体 今まで訪問したところから、また来てほしいと言われていて、新しい活動先を見つける余裕がありません。

会 長 今後の展望でも、市内全域に広げていくとあるので、新しい活動先を開拓していくといいと思います。

委 員 年間の訪問回数がすごく多く、年齢層も高いですが、誰か一人が具合が悪くて欠けたりすると、担当のパートがいなくなってしまうこともあるのではないのでしょうか。少し回数を減らして、一度立ち止まって周りを見渡し、どこの施設はいつも行っていて、どこの施設に行けていないのか、また、レパトリーを増やすことを考えるなど、その辺を少し考えた方がいいのではないのでしょうか。

団 体 検討したいと思います。

委 員 活動量の割に出費が少ないようですが、持ち出しなのでしょうか。

団 体 そうです。皆で協力し合っています。

委 員 財源負担を、民間の財団等、もっと他のところから求めるなどといった工夫はあるのでしょうか。

また、今後の展望に、活動内容を充実させるとありますが、手話なども展望とし

てあるのでしょうか。

- 団 体 コンビニやスーパーなど、スポンサーを探そうと活動しているところです。また、踊りや楽器、手話、体操も並行して、皆さんに喜んでもらえる活動を練習して励んでいます。
- 委 員 今後の組織基盤として、人材育成などはどのように考えていますか。
- 団 体 部員は構成員8名の他に、企画自体に携わっていないが施設訪問には来てくれるという者もいますので、全て合わせると20名ほどで活動しています。その他にも、いろいろな場面で手伝ってくれる方達が100名程います。

**2 2** 事業名：アニメ・コスプレ・サブカルチャーで町おこし事業

団体名：ひみつきちエンターテイメント

- 委 員 助成金を獲得したら、今までできなかったこんなことをやりたいなどはありませんか。
- 団 体 ライブを開催するために、松戸駅前のデッキを借りるのに、47,000円かかります。これまで年間2、3回ライブを継続してきましたが、継続が困難になってきました。2019年は一度もデッキを借りられていません。助成金をいただけたら、またステージを開催したいと思います。
- 会 長 バーベキューや花火イベントなど、たくさんのイベントがありますが、これらは自分たちの他に主催者がいて、皆さんがそれに参加するかたちでしょうか。
- 団 体 花火大会は、主催は自分たちではありません。松戸市民であっても、松戸の花火大会に行ったことがない人もいますし、他市の人にもこんなイベントがあるということを知ってもらいたいと思っています。私たちが花火大会への参加を呼びかけると、20代の若者なども足を運んでくれます。それがきっかけで、松戸の花火ってすごいんだと感じてもらい、今度から他市の人も誘って来てくれたり、口コミとSNSで松戸の花火が他市にも広がっていくことがあると思います。ライブイベントに関しては、イベントを企画運営している人がいて、私たちはオフアールをもらいます。河川清流課からお誘いがあったりもします。
- 会 長 松戸を舞台にして、アニメコンテンツを素材にしたパフォーマンスをしようということですが、松戸市コンテンツ事業部の人たちとはどの程度話ができているのでしょうか。きちんと自分たちの思いを共有できているのでしょうか。
- 団 体 最初は、行き当たりばったりで松戸市コンテンツ事業部の方と話をしていましたが、市民活動団体や社会教育関係団体に登録しているかと聞かれて、市に関連のある人を取り上げていることが多いと聞いて、この審査が通ったら団体の登録に行きたいと思っています。

**2 3** 事業名：伝統芸能の阿波踊りを通じて、世代間交流を深める事業

団体名：惣ノ風連

- 委員 阿波踊りの魅力とはどういったものでしょうか。
- 団体 私たちの連に関していうと、多世代の交流ができます。また、お祭りの度にたくさんの人に見てもらえて、良い反応をもらっています。Y o u T u b eで動画を流したりすると外国人の方からの反応もあります。伝統芸能である阿波踊りの魅力を伝えられていると思います。
- 委員 地域の市民に呼びかけて参加を促していくということでは、事業内容の5、6がそれに当たるかと思いますが、その上の部分については自分たちの練習だったりすると思います。もう少し、5、6のところを、提案書に書いたこと以外で工夫があればいいなと思うのですがいかがでしょうか。
- 団体 今まではまだお祭りしか参加したことがなくて、お祭りを見て連に参加してもらったり、こども食堂や学童と関わっていくことで、活動範囲も広がっていくのかなと思っています。
- 委員 そこが今回の提案では一番のポイントになるのではないかと思います。
- 団体 新松戸のこども食堂のホームページを見たら、新松戸祭りにみんなで行ったことが書かれていたので、地域のお祭りには関心があるのだらうと思います。
- 委員 今後の展望でいいなという点は、他の地域とも交流を広げていこうとする点と、外国人にも阿波踊りを通じて日本の文化を紹介していこうという点です。実現していただきたいです。
- 会長 地元のお祭りというのは神事のことがあります。阿波踊りはよその土地のお祭りだと思いますが、地元の人を見る目はどうなのでしょう。地域との親和性を考えたことはありますか。
- 神楽坂などでもお祭りで阿波踊りをやっていますが、町としての設えができています。地元の方とのコミュニケーションができているのかということをお教えてください。
- 団体 松戸市には3つの連あって、どこも連員が多くなく、そこまで集客がありません。これをきっかけに、我々の連が人数を増やして力をつけて、市内の阿波踊り連として、他市にも認知されるような活動をしていきたいと思っています。

**2 4** 事業名：松戸市における災害支援の文化を創造する事業

団体名：特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター

- 委員 今回の事業の要として、講座とワークショップをそれぞれ5回ずつということですが、具体的な内容をもう少し詳しく教えてください。
- 団体 5回の講座とワークショップはリンクしません。別物として考えています。
- 委員 活動実績として、かなり幅広く取り組まれているようですが、松戸市以外の自治

体でも同じような活動に取り組んでいるのでしょうか。

団 体 この事業に関しては松戸市での活動が初めてです。私たちは災害に特化したNPO団体ではなく、国の方で災害時の三者連携（行政、災害ボランティアセンター（社会福祉協議会）、NPO等の中間支援組織の連携）という動きが進んできた中で、昨年から県の災害ボランティア連絡会に参加しています。都市部の災害対策のためにと思っているのですが、他の自治体でこのような事業は行っていません。

委 員 今回の台風で、松戸はあまり大きな被災がなく、どんどん忘れ去られるのではないかと思います。そんな中で、もし松戸が被災した時のために、内閣府からのお達しの通り三者連携ということで、中間支援組織、災害ボランティアセンターも巻き込む仕組みを、ぜひ松戸市の中でもこの事業を契機に発展させていけたらなと期待を持っています。よその市町村はどういった具合でしょうか。

団 体 都市部でも、佐倉市や四街道市など被害が深刻なところは、今回のことを何らかの対策につなげていこうという動きあります。ですが、全体としては、被害が深刻なところと比べると、少し意識は低いと思います。

会 長 ステップアップする部分として、今回はより実践的な、即戦力としての災害対応力の獲得をテーマにすると思いますが、松戸市に向けた取り組みを具体的に噛み砕いて教えてください。

団 体 ステップアップの意味合いとして、防災の取り組みというところではいろいろありますが、今回の台風で、発災後の活動というのはまるっきり質が違うことがわかりました。今回の台風では準備不足で、自分たちがもっと情報発信をする力があれば、被害も防げたでしょうし、具体的に、こういう物を使ってこう対策するんだというようなことを、松戸市のような都市部で重ねていくことに価値があるのではないかと思います、ステップアップとして申請しました。

会 長 今後の展望の中で、ネットワークを構築するとありますが、危機管理課、社会福祉協議会、まつど市民活動サポートセンター、小金原地区会防災部の動きなどは、どの程度視野に入っていますか。

団 体 今までの災害とは規模が違うので、6市1町のネットワークの中で、事業継承、準備をしているところです。それとは別で、災害があると、その後の市民活動団体の力は上がるのですが、今のうちに力を上げておくことが大事だと感じました。何かあったらのネットワークでなく、何かあったらこういうことが必要になるという情報を含めて、担当課を超えて情報共有していくことが切実に必要だと感じています。

**25** 事業名：笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業

団体名：浅間台笑劇研究部

委 員 大道具の保管場所の問題は解決されたのでしょうか。

- 団 体 パソコンを使ってプロジェクターで背景を投影することで解決しました。
- 委 員 次年度の予算として、施設までの大道具運搬費が計上されていますが、3,000円の根拠は何でしょうか。今の仰ったように、もし運搬しないのであれば、この経費は必要ないということでしょうか。
- 団 体 現在大道具を減らしてはいますが、今まで作った分は使っています。これからも、全く作らないというわけではなくて、車を1台提供してもらって、往復してもらおうと同時に、倉庫を提供してもらっているの、家賃というのも含めて無理してお願いしているという状況です。
- 委 員 今年度はホールで大きな公演を行うようですが、市民劇場は予算3万円で大丈夫なのでしょうか。また、来てくれる方は無料なのでしょうか。
- 団 体 予算は3万円で収まります。参加費は無料です。前回の提案の際、寄付箱を置いたらどうかという審査委員からの提案がありましたので、寄付箱を設置しようと思っています。
- 委 員 今後の展望で、笑劇以外の出し物を開発するとありますが、予算は足りるのでしょうか。
- 団 体 お金はかからないと思います。予算の範囲でやっていきたいと思います。今回も唱歌などをやりました。

**26** 事業名：外国人の子どものための新教室設立事業

団体名：認定NPO法人外国人の子どものための勉強会

- 委 員 実際に何人くらいが教室に通っているのでしょうか。1回の参加料500円が払えないような人もいるのでしょうか。
- 団 体 現在、文化ホールで中学生を対象とした土曜教室を開催していますが、1年生は生徒6名、スタッフ4名、2年生は生徒8名、スタッフ5名、3年生は生徒10名、スタッフ5名でやっています。木曜教室では、概ね生徒3名をスタッフ2名で対応しているような状態です。
- 参加料500円を払えるか払えないかという懸念ですが、実は今やっている他の教室は500円ではありません。また現状としては払える方のみ来ているという実情です。今回の500円という設定は、また内部で審議して決めていきますが、トライアル教室という観点からこういうかたちで考えています。
- 会 長 具体的な物件の目処はあるのでしょうか。
- 団 体 新松戸市民センターを借りられれば良いなと思っていますが、民間でも、新松戸市民センターの隣に「NPO法人さわやか福祉の会・松戸くらしの助っ人」という団体の事務所がありまして、その2階を借りられるようです。
- 会 長 スタッフ研修は、日本語教育に特化した研修ですか。今年度は高校入試なので、学科が中心だと思いますが、教える側は日本語教育を学び直すということでは

うか。

団 体 日本語をしっかりと教えるスタッフが必要だと思います。基本的に、教え込みには方策が必要です。今回はあくまでもトライアル教室ということで、新しいスタッフが教えることになりますが、日本語を教えることができるようになったうえで、数学や英語を教えてもらうようにします。日本語をやみくもに教えるのではなく、生徒のレベルに合わせてしっかりとやっていきたいと思っています。

委 員 新松戸の教室の対象は中学生ですが、小学生も困っている人いると思うのですがいかがでしょうか。

団 体 中学生の人数が非常に多いです。実際には小学生もいますが、まずは中学生をしっかりと教えられる環境をつくらなければならないと思っています。段階を踏んで小学生向けにも取り組んでいきたいと思っています。

## 5 閉会